

誌上

サークル レッスン

第①回



神元 誠さん



神元久子さん

サークルを作ろうとなさっている方々や、すでに活動をなさっている皆様にも、少しでもお役に立てば...という素直な気持ちで、私たちの7年間のサークル活動の中で様々な話をまじえながら書いていこうと思います。

そのようなわけで、ステップ等に関するしましては、プロの先生方や上級の方から見ますと、多少違っていたり、不足している部分もあるかと思いますがそのような折には、適切なアドバイスをいただければ幸いです。

...これから先は、肩の力を抜いて、普段のサークルの調子で参ります...

夫 そんな人を妻にしたくらい(笑)。したがって、サークル発足への付随的な理由としては、

- (夫側)
1. 妻が英国で受けてきた、約2年半のレッスンを無駄にしたくなかった。
 2. 単に子供ができたからといって、妻に家庭に閉じこもってもらいたくなかった。そして...

3. 自分が教わったようなダンスが広がってほしいと思った。

4. 夫と踊れたらしあわせと思った。等が挙げられます。

かくして、当時若かった私たちは、クラーク博士の言葉、"Boys Be Ambitious!" ではありませんが、「日本一のサークルにしよう」と単純に考えて行動を起こしたのであります。以来、私たちは次の点を大切にしています。

- ① 良い踊りを見る。
- ② 良い音楽を聞く。
- ③ 良いレッスンをやる。受ける。

ちなみに、私たちのダンス歴は、妻十数年、私はサークル発足とほぼ同時にスタートしたので、まだわずか7年です。

(この差の大きさは何を意味するのか、ダンスをしている皆さんには、よくご理解いただけると思います。まあ、その分、家庭内で取り戻していますがネ)

そのようなわけで、後のステップの講釈は、妻が教える立場から、私は教わる立場から論じて参ります。

いざ、サークル活動開始!

私たちがこの街にサークルをつくらうと考えたのは、長女(明日花)が生まれた直後のことです。その大きな理由は、何と云っても、ダンスが好きだったからなのです。では、どのくらい好きだったかという点、

妻 本場英国まで足を運んだくらい。

ASDC講習会 パンフレット

受講者の皆様へ

- 60年度の講習会は、下記の様に行われます。内容を十分ご理解の上、ご参加下さい。
- ①主催 この講習会は、あさかソシアルダンスサークルが主催するものです。
 - ②講習会 この講習会は1年を1コースとし、1〜7月を初級1、8〜11月を初級2、そして12〜3月を中級1に分けてレッスンを行います。したがって
 - ③初級1は初級1の講習修了者のみ受講できます。
 - ④中級1は初級1の講習修了者のみ受講できます。
 - ⑤ ① 途中入会はできません。
 - ⑥ ② 12月はこの時期突発的にダンスを習いたくなる一般市民のための短期講習会を開きます。講習会生は参加自由。サークル員は必ず出席。

- ⑦ ③ 周囲に気を配りましょう。ぶつかったら、お互いに一言かけ合います。(例)すみません、失礼、ごめんなさい)
- ⑧ ④ その他 講習前には手を洗いまじょう。みんなが気持ちよくレッスンを受けることは、一人一人の上達につながります。自分勝手な態度を慎み、積極的な気持ちで参加しましょう。
- ⑨ ⑤ 筆記具を持参し、講習内容をノートして下さい。よそとかけもちでレッスンを受けないようにしましょう。集中力が落ちたり混乱したりして、上達の妨げになることが多々あります。
- ⑩ ⑥ 会場内での喫煙はお断りします。酒気をおびた方は、見学のみして下さい。

講習会

この講習会は、ダンスを初めて習う方のためにプログラムを組んであります。経験者の方にはご存知のステップばかりかもしれませんが、より正しい形(姿勢、ホールド・フットワーク等)で正確に踊れるように指導していきますから、あなたも、おごらず、レッスンに参加して下さい。同じステップでももっと上手に踊れるようになります。

●はじめに...

「エエッ、原稿? 引き受けちゃったの?」と妻絶句。夫「...」

この会話が合ったのは、まだおトソ自分の抜けきらない正月明けのことでした。その頃は、私たちのサークル活動が、ダンスファン3月号で紹介されることが決まってまだ間がない時のことですから、妻の「?」も夫の「...」もおさざらです。

「全国のサークル活動をしている中級の人々を対象とし、ステップの解説も含めた、読み物風のもの」という、たいへん要望の多い依頼でした。

お引き受けしたものの、考えてみれば私たちはプロでもなければ、物書きでもない。普通のサラリーマンと2児(長女6歳、次女1歳)の母親。しかも筆不精。事の重大さに気付き、3日3晩眠れぬ日が続きました。

ようやく冷静になった今、これから

●初級?それとも中級?

ましてや、あなたがそのサークルのことを何も知らずに「そこにサークルがあるから」と言っただけで飛び込んだのでは、入会金や会費が、たちまち無駄金になりかねません。

私たちのサークルとして同じことです。そこで、ASDCでは、講習会への参加希望者には説明会を開き、納得した方のみに参加していただくようにしています。

そこで、昨年の説明会に配布したプリントの抜粋を載せてみました。これで、ASDCにどんな仲間が集っているか、また私たちはサークルに対してどう考えているかを、想像してみてください。

依頼された意向としては、中級程度の云々」ということだったので、正直言って私たち自身、あまり難しいことは知らないのです。

そんなわけで、私たちのASDCのレッスンで取り上げているフィガーを紹介していきたいと思えます。

これはあくまでも初心者を対象とした、一年コースで学ぶ範囲内です。ご存知の方は復習のつもりでお願いします。

「ヨージ、読んでみよう」と思うあなたは、もう中級の意識ですよ。でも少し読んでめまいを感じたら、あなたはまだ初級の初め! さて、あなたはどっち?

●楽しみ方は人それぞれ

日本全国津々浦々、いったいどのくらいのサークルがあるのでしよう。たとえいくつあったとしても、その中のひとつに通っているあなたは、きっと「私たちのサークルは日本一素晴らしい」と考えていると思えます。きっとそうだと思います。それは、きっと「これで3回目」あなたの求めているダンスの楽しみ方。が、そのサークルで十分満たされているからだと思います。

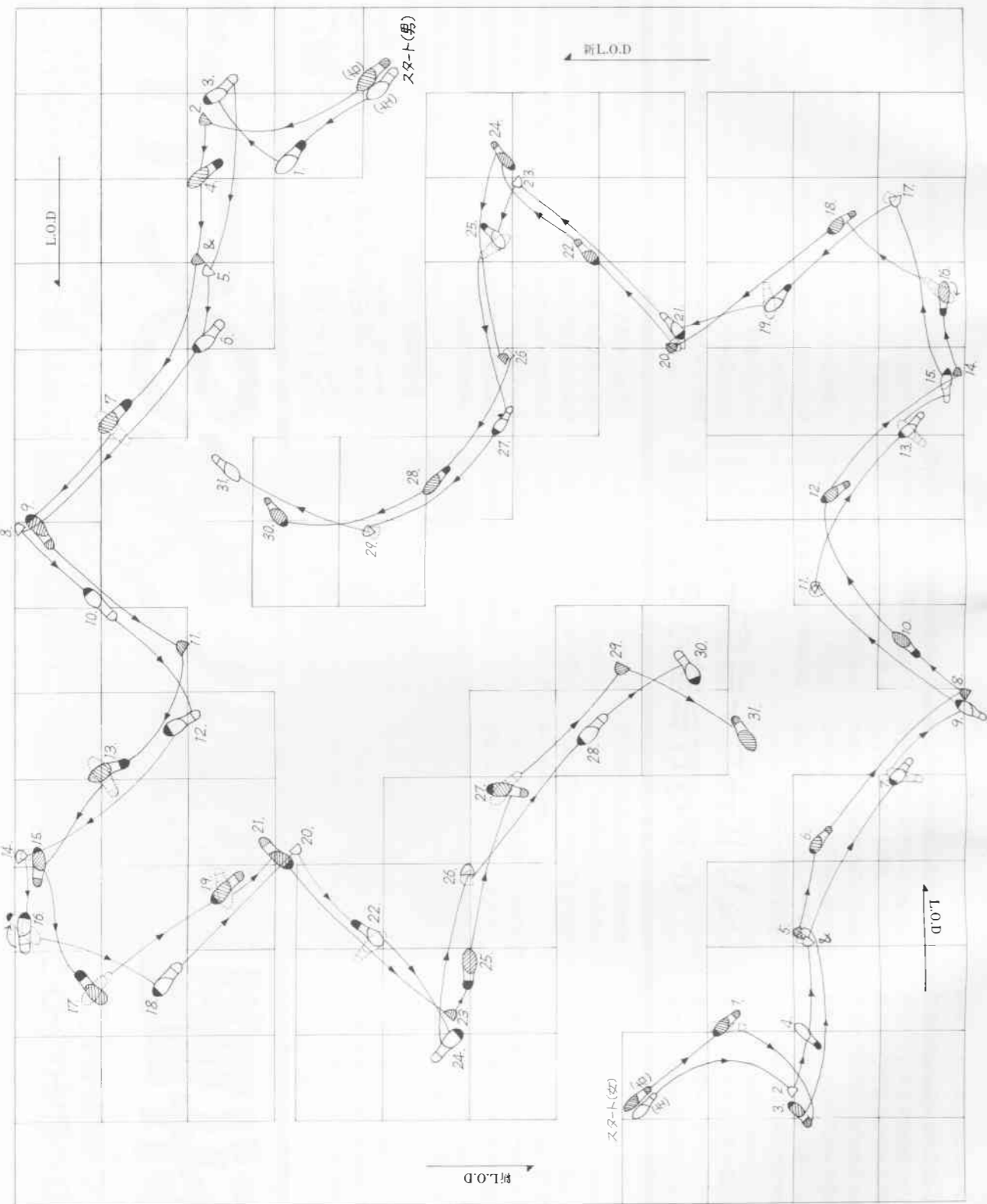
いろいろなダンスの楽しみ方がありますが、一人一人の楽しみ方や目標が異なるとなると、複数の人間が集う、たったひとつのサークルで、全員の要求を満たすことは、不可能に近い気がします。



※本来はASDC=サークルなのですがここで単にASDCと述べる時にはサークルの他講習会も私たちも含むことにします。

A・S・D・Cサークルレッスン

フルーツのアマルガメーション



最初は、ワ・ル・ツです

ASDCでは、最初にワルツを取り上げます。以前はマンボやボックス・ルンバから始めていたのですが、それを改めたのは、次のような理由があります。

- ① かつて習ったことのある人が、マンボやボックス・ルンバにあまり興味を示さず、レッスンの雰囲気や味を壊すことがある。
- ② ワルツは前述の踊りに比べ、早く踊りたいと思っている人が多く、みんなが熱心になる。

●頭痛薬のご用意を

では、61ヘージのアマルガメーションに目を通してみましょう。ステップに1-31と番号がふってありますね。このわずか31歩に手こずり、四苦八苦するわけです。

このアマルガメーションを見て、直ちにどんなファイガーが用いられているのか判った人は、はっきり言って『スゴイ!』。凶をもとに、何とか動けた人も『偉い!』。あなた方は、かなりやっていますね。

さて、頭の痛くなった人はいませんか? そんな人は取り合えず頭痛薬を

飲んでいらつしやい。飲んできたならば、一緒に、ひとつひとつ勉強していきましょう。

●足型図の読み方

最初に凶の読み方を学びましょう。多少の専門用語を覚えなければならぬことは、皆さんにも十分理解していただけることと思います。ホラ、車の免許を取ろうというときには、それなりの勉強が必要でしょ? それと同じこと。まさか、ここで逃げ出す人はいないでしょうね。?

図1を見て下さい。ここでは、トゥとヒールの位置を覚えましょう。

次に足型ですが、図2を見てみましょう。①H.T.はヒール・トゥと読んで、最初に踵が床につき、それからつま先がつくということです。

②はどうでしょう。T.H.とありますからトゥ・ヒールと読んで、まずつま先がついてから踵になるという意味ですね。



③T.はトゥと読み、つま先のみが床に着きます。

④T.H.T.はトゥ・ヒール・トゥと読み、つま先・踵・つま先の順になるという意味です。

⑤の点線は、それぞれ回転した後の位置を示しています。

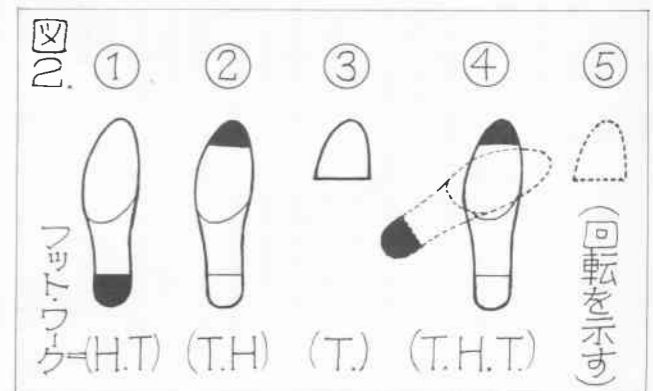
これらの凶は私たちのオリジナルで、他の本では見ることができないものです(特許出願中?)。この凶の特性は、それぞれの足型図が、特定のフットワークを示しているという点です。つまり、①H.T.や②T.H.の足型図では、最初に床に触れる部分を黒く塗りつぶしてあり、③T.の、つま先しか床につかないステップでは、つま先だけの凶にしてあります。

また、④T.H.T.においては、初めの足型のつま先を黒くしてT.H.をまず示し、次に回転後の足型の踵を塗ってH.T.を示すことによって、合わせてT.H.T.を表現できるようにしています。

このアイディアは、昨年のある夏の夜の事、よくフットワークを間違える仲間のことを想い、『どうしたら正しく踏んでもらえるんだろう?』と考え込んでいた時に、フツと思いついたものです。これぞまさしく、フツとわりく!!

さすがにこの時は自分のことを『馬鹿じゃない?』と思いましたが。(本当は『賢い!』と感心したのです)。

さあ、これが理解できた人は、61ヘージのアマルガメーションを、一歩一歩シャドーしてみましょう。少しやさしく思われた人は、1-31歩の名称を余白に書き込んでみて下さい。(例・7-9 || ナチュラル・ターンの前半)



正解は来月号で発表します。では今日はこの辺で。風邪をひかないでネ!

◆今回出てきた主な用語◆

ステップ|| 一般に「一歩」を指す。
 ファイガー(フィギュアとも言う)|| いくつかのステップでなすひとつの踊り。例えばナチュラルターンは6歩できているひとつの踊りといえる。ステップ|| ということもある。
 アマルガメーション|| 2つ以上のファイガーを組み合わせたもの。
 フットワーク|| 足の裏のどの部分が床につくかを示すもの。
 ヒール、トゥ|| 本文中の図1参照。